

〈図画工作科〉 3年

現在の分析

〈知識及び技能〉

- ・自分で集めた材料を生かそうとしたり、自分の思いを形にしようとしたりと、身近な材料を使った造形活動に対して関心が高い。よいと思った表現は、自分の作品に取り込もうとしている。
- ・自分なりのこだわりや、もっとよくしようとする意欲がもてず、集中して活動に取り組めない児童もいる。
- ・自分の発想を大切にしてくったり、友達のよい表現を取り入れたりして、工夫して作品づくりをした。

〈思考力・判断力・表現力等〉

- ・自分の思いを大切にしながら、作品づくりに取り組む姿がみられた。
- ・発想の豊かな児童が多いが、自分の思いがまとまらなかったり、既成のイメージにとらわれて発想をふくらませられなかったりする児童もいた。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・友達の作品を見合い、友達のよいところを自分の作品に生かそうとしていた。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・活動の取り組みがよい。しかし、自分がイメージしたことに対して最後までこだわって創作活動する児童が少ないことが課題である。

〈思考力・判断力・表現力等〉

- ・活動によっては、発想がひろがるよう、安全面も配慮しながら教室以外の場所を設定している。しかし、十分な活動場所の確保が難しい。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・出来上がった作品だけでなく、作品のつくる段階(材料の使い方の工夫・形や色など)を楽しもうとする姿勢があまり見られないことが課題である。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・これからも児童が関心や意欲を高められるような参考作品を用意していく。
- ・作品づくりに必要な材料、用具などを十分に準備する。
- ・豊かな発想や一人一人の発想が深められるような雰囲気づくりをしていく。
- ・児童が表したいことに合わせて、扱いやすい材料や用具を十分な量を準備する。

〈思考力・判断力・表現力等〉

- ・自分の手がけたものから、新たな発想を広げ、別の材料を加えたり、飾ったり、合わせ方を工夫したりしながら取り組めるよう声掛けしていく。
- ・楽しい造形活動を発想できるように、試作品を提示したり校庭など児童に身近な場所で活動したりできる環境を作り、工夫していく。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・友達と作品を見合い、見つけたよさや感じたことをメモなどで伝えて、意欲付けにつながったり、つくり出す喜びを味わったりすることができるようにする。感じたことや思ったことを伝え合う機会をふやしていく。